

## DDGの輸送 Carriage of distillers' Dried Grain

**背景**

ガードはメンバーから、DDG (Distillers' Dried Grain、乾燥した蒸留穀物残渣)またはDDGS(Distillers' Dried Grain with soluble、可溶性物質添加の乾燥蒸留穀物残渣)<sup>1</sup>の輸送において多くのアドバイスを求められている。荷送人による貨物の申告が不正確なことはよくある。安全性に問題のないばら積み貨物として申告されることもあれば、IMOが定めるシードケーキに関するBCコード(Code of Safe Practice for Solid Bulk Cargoes、固体ばら積み貨物の安全実施規則)で危険物に該当する貨物として申告されることもある。荷送人の申告にこれらの食い違いがみられる以上、はっきりとした説明がなされるべきであろう。

**規則と関連するリスク**

船主がシードケーキに関するBCコードに従うようアドバイスを受けることはよくある。IMSBC Code(International Maritime Solid Bulk Cargoes Code)においてシードケーキは下記の通り分類される(IMO Class 4.2, UN Number 1386 植物油を含むシードケーキ):

- ・ 1386(a) -  
エタノール抽出後の種子であって、油の含有率10%を超えるものまたは油と水分の含有率の合計が20%を超えるもの。
- ・ 1386(b) -  
溶媒抽出とエタノール抽出後の種子であって、油の含有率が10%までのものと、水分の総含有率が10%の場合は、油と水分の混合物の含有率の合計が20%までのもの。

現在のBCコードと新しいIMSBCコードは、物質の名前や製造方法よりむしろ化学的性質と構成に基づいている、とIMOは認識しているようだ。コード中にDDG・DDGSに関する特別な規定がないのは、そこに対象となるすべての物資の名前を挙げて記載することが不可能であるからとは考えにくい。

DDG・DDGSは言葉の真の意味においてはシードケーキではない。なぜならこれらは穀物からの物理的又は溶媒による油の抽出で生じる残留物ではないからである。DDGは、トウモロコシの発酵による副産物であり、<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 穀物からエタノールを生産する時に出る副産物。

---

%を超える残留オイルと20%を超える油と水分の混合物を含むものである。この物質は自己発熱することがあり、もし濡れていたり、不酸化油を過度の割合で含んでいたりすれば、自然発火が起こる。

### アドバイス

UNI386の対象となる貨物輸送をBCコード・IMSBCコードの規定に則って行うためには、貨物の温度をモニターすべし、とガードはアドバイスをを行っている。その温度は摂氏55度以下か大気温度に摂氏10度を加えたもののどちらか低いほうでなければならない。貨物スペース内の温度を異なる深度において定期的に測定し、その結果を記録する必要がある。もし貨物の温度が摂氏55度に達し、上昇を続けたなら、換気は中断すべきである。もし自己発熱が継続したら、二酸化炭素又は不活性ガスを貨物スペースに注入しなければならない。

荷送人には、輸送貨物について適切な情報を提供し、貨物がBCコードに従って安全に輸送されるようにする責任がある。その情報は申告という形を伴うべきである（具体例はIMSBCコードにみうけられる）。またその申告には、貨物の実際の含水量に関して、担当機関が認定した人物が発行した証明書も添付すべきである。

---

For more information please contact Loss Prevention Manager Terje R. Paulsen, email [terje.paulsen@gard.no](mailto:terje.paulsen@gard.no) or Loss Prevention Executive Marius Schønberg, email [marius.schonberg@gard.no](mailto:marius.schonberg@gard.no)

The information is provided for general information purposes only. Whilst we have taken every care to ensure the accuracy and quality of the information provided at the time of original publication, Gard AS can accept no responsibility in respect of any loss or damage of any kind whatsoever which may arise

© Gard AS, May 2010